

ライチ便り No. 43

～福岡広州ライチ倶楽部会報 2019年8月号～

<http://lychee-club.jp/>

急に秋めいてきました。残暑のことを中国語で「秋の虎」といいます。暑さのぶり返しはきっとあるでしょうから油断は禁物です。体調を整えながら、健康裡にスポーツの秋、芸術の秋を迎えましょう。ライチ倶楽部では10月に広州訪問団を準備していますし、恒例の飲茶会もあります。忙しくなりそうです。皆さまどうぞご参加ください！

今年は福岡広州友好都市40周年とあって、6、7月にはもりたくさんの記念行事が行われました。

広州電視台が「友誼の歌」の練習取材しました

G20が大阪で行われるのに合わせて6月12日、広州市が大阪で「日中友好故事会」という大掛かりなイベントを行いました。取材のために同行していたメディアの関係者がその後福岡にも立ち寄り、西日本新聞社やRKB毎日放送など、これまでマスコミ同士の交流を行ってきた相手会社を表敬訪問しました。

14日には広州電視台(テレビ局)はライチ倶楽部と福岡市女性翼の会の有志が続けている「友誼の歌」の練習風景も取材し、清水会長に当倶楽部の活動についてインタビューしました。



インタビューを受ける清水会長

「広東・香港・マカオ大湾区構想と経済的ポテンシャル」と題する講演会が行われました

7月5日、天神センタービル会議室で、在広州日本総領事石塚英樹氏による講演会が上記のテーマで行われました。福岡市、福岡市姉妹都市委員会等が主催したものです。現在すでに香港・マカオ間に55キロの海上大橋が開通していますが、将来的にはニューヨーク、東京にも匹敵するような一大ベイエリア経済圏が広州南沙区周辺に出現して中国経済を牽引するのだそうです。これから益々目が離せませんね。

広州ユース交響楽団演奏会が開催されました

7月24日には福岡シンフォニーホールで中国の新時代を担う若手音楽家たちによる交響楽の演奏会が開かれました。「友好都市40周年を記念してご招待します」との交響楽団からのお申し出により、多数の当倶楽部関係者も素晴らしい演奏を堪能しました。小学4年生から22歳までのアマチュア音楽家グループに中国を代表するバイオリニスト呂思清さんが加わっての美しい名曲の調べに、

会場は酔いしれました。

広州市代表团と交流しました



ことが大きな悩みになっているのだそうで、0歳から預かってくれる日本の保育システムが大いに参考になったようです。

広州ユース交響楽団を率いて来福された広州市代表团は広州市政治協商会議副主席の于欣偉女史を初めとする一行5人でした。ライチ倶楽部と交流したいとの希望に応え7月25日に当倶楽部の女性役員と団体会員である福岡市女性翼の会有志で昼食懇談会を行った後、姪浜保育所と福岡市中央児童会館の視察をご案内しました。広州では、就学前の子供は3歳から幼稚園に通うのが一般的ですが、0～3歳の幼児を預ける場所がない



歓迎会に出席して友誼の歌を披露しました



25日の夜に開かれた歓迎会会場で、日ごろ練習を重ねている「福岡広州友誼の歌」2曲を披露しました。続いて披露された広州ユース交響楽団の見事なミニ演奏やしびれるような和太鼓のパフォーマンスの前座をつとめた形でしたが、「木綿と桜」は初めて中国語でも歌い、沢山の拍手を受けました。10月までにはもっと上手になって、広州でも披露しようと張り切っています。

-
- * 当倶楽部のHPとブログを開設しました。標記のアドレスに是非アクセスして下さい。
 - * 会費未納の方は、今年度会費の振込をお願いします。個人：3000円 団体：一口10000円
 - * 会報を送付するのは電子メールが便利です。メールアドレスをお持ちの方は是非お知らせください。
連絡先：y-chiba@lychee-club.jp